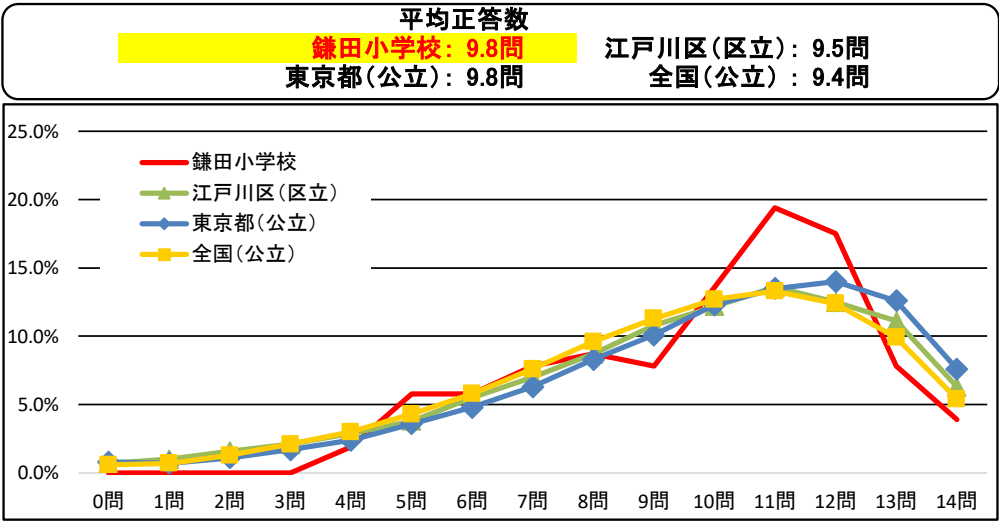


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【国語】江戸川区立鎌田小学校

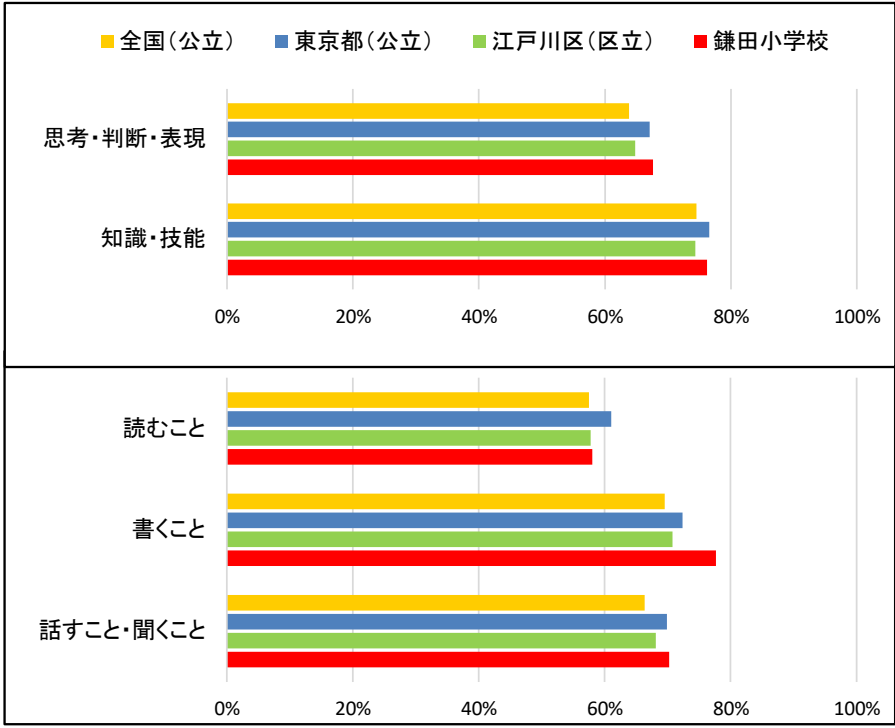
正 答 数 分 布



【平均正答率の差】

鎌田小学校	70%
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	66.8%
都との差(ポイント)	0.0

「領域別」の結果

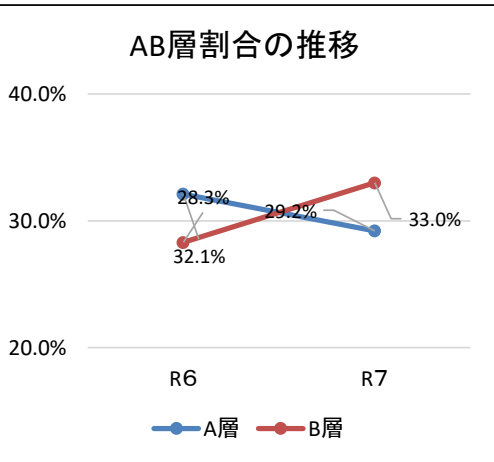


四 分 位 に お け る 割 合 (都 全 体 の 四 分 位 に よ る)

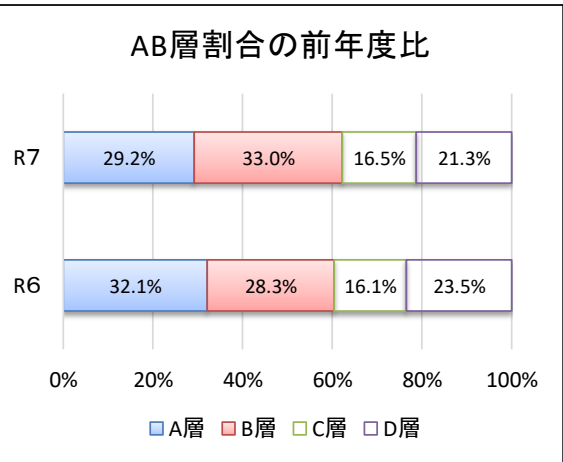
国 語	上 位 ← → 下 位			
	A 層 12～14問	B 層 10～11問	C 層 8～9問	D 層 0～7問
鎌田小学校	29.2%	33.0%	16.5%	21.3%
江戸川区(区立)	30.0%	25.8%	19.5%	24.7%
東京都(公立)	34.2%	25.8%	18.4%	21.4%
全国(公立)	27.7%	26.0%	20.9%	25.4%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

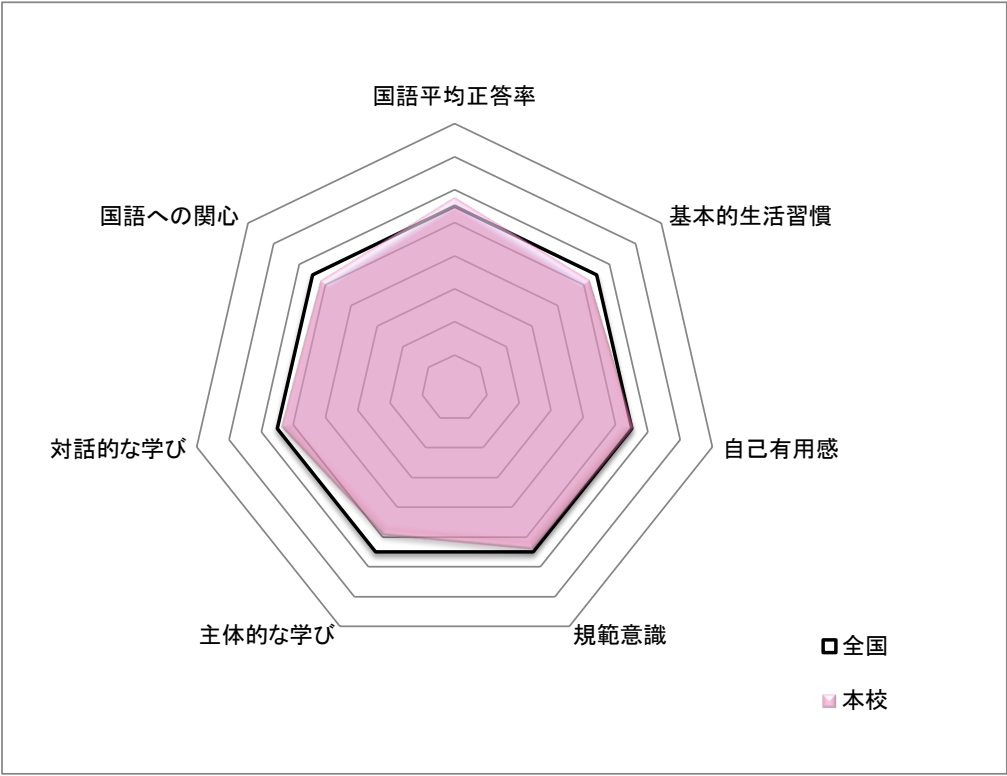
AB層割合の推移



AB層割合の前年度比



各 領 域 に お け る 、 全 国 平 均 正 答 率 及 び 、 全 国 の 肯 定 的 回 答 合 計 値 を 基 準 と し た 場 合 の 、 本 校 の 様 子 。



《チャートの特徴》

国語科の平均正答率に関しては全国より、3.2ポイント高く70%となっている。その他の項目は自己有用感、規範意識、対話的な学びは全国と同じぐらいで高いポイントを維持している。その反面、基本的生活習慣、国語への関心、主体的な学びのポイントは全国のポイントより低くなっている。特に主体的な学び、国語への関心は校内研究との繋がりがもたれているので再度見直ししながら児童の学力向上に取り組んでいく。

《家庭・地域への働きかけ》

・普段からの家庭学習や、スタディーウィーク、ミライシード、放課後学習教室を活用した基礎学力の向上を図る取り組みへの理解・協力を得ている。
・保護者・地域・教員による、「朝の読み聞かせ活動」を実施することで読書に親しむ機会を増やしている。

《現状把握》

●AB層の割合と取組内容について
・昨年度の割合と比較すると、A層2.9ポイントダウン、B層4.7ポイントアップとなっている。ただしAB層の合計に関しては、令和6年度60.4ポイントから令和7年度62.2ポイントとなり、AB層の増加、特にCD層からの成長がみられることが分かる。
・学校としての取組としては大きく2点である。1点目は校内研究として行っている「授業力改善～国語科～」を土台とする、児童が主体的な授業を目指した授業改善。2点目は江戸川区で行っている「YOMUよむワークシート」を活用した朝学習、調べまめ学習である。毎週確実に積み上げることで文章を読み、考えをもつ経験を積んでいる。特別な何かを行うのではなく、江戸川区や鎌田小が行う、やるべき事を確実に積み上げることで急激な変化は見ることができないが、着実に児童の基礎力が向上し、児童の学力向上につながっている。

《学校の取組》

・教員の指導力向上
・校内研究を柱とした「授業力改善～国語科～」を土台とする、児童主体の授業を目指した授業改善を学校全体で行っている。1、2年生専科合同の低学年分科会、3、4年生専科合同の中学年分科会、5、6年生専科合同の高学年分科会の3分科会に分かれ、互いに学年の系統性をもった授業作り、教材研究を基に各学年年間1回の研究授業を行っている。その都度、講師の先生にお越しいただき、様々な視点から指導講評をいただきながら日々授業改善を行っている。

・基礎学力の保障

・校内研究を柱とした「授業力改善」を日々教員が行うことで児童が意欲的に学習に取り組む環境の向上にむけて取り組んでいる。
・毎週金曜日の朝を朝学習として江戸川区で行っている「YOMUよむワークシート」を活用した学習を行うことを毎週確実に積み上げることで、文章を読み考えをもつ経験を積んでいる。
・普段からの家庭学習に、スタディーウィーク、ミライシード、放課後学習教室を活用した基礎学力の向上を図っている。

・学習習慣の確立

・毎週金曜日の朝を朝学習として江戸川区で行っている「YOMUよむワークシート」を活用した学習を行うことを毎週確実に積み上げることで、文章を読み考えをもつ経験を積んでいる。
・普段からの家庭学習に、スタディーウィークを活用した学習習慣を見直し改善する期間を設けている。
・チャイム着席や授業規律を明確にすることで、普段の授業から学習に向かう姿勢を育てている。

・AB層の育成

・「授業改善」を行い、授業内に対話的活動を取り入れことで、AB層の児童がより深く学ぶ機会を作るような授業改善を行っている。
・朝学習として江戸川区で行っている「YOMUよむワークシート」を活用した学習の中で児童が読み取ったことを相手に伝えたり教えたりする活動を取り入れ、学びを深めている。